
TOSHIBA

液晶ディスプレイ

取付ガイド

形名

TD-E555TS

本書はTD-E555TSの設置・据え付けに関するガイドブックです。
ソフトウェア機能詳細は、弊社WEBページに掲載の
「TD-E555TS 取付／取扱説明書」をダウンロードしてご確認ください。

ユーザーメモ

形名・製造番号は液晶ディスプレイ本体の
背面に記載されています。

形名・製造番号を以下にご記入ください。

お買い上げの販売店にご連絡される際は、この番号をお伝え
ください。

形 名： _____

製造番号： _____

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

製品及び取付/取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

- *1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、及び治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
 *2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
 *3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の例】

図記号	図記号の意味
 禁止	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“  ”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



異常や故障のとき

- 煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜く

- 入力信号を接続して電源を入れても、画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

プラグを抜く

- 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

プラグを抜く

- 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
キャビネットが破損したままでは取り扱えず、けがの原因があります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

プラグを抜く

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜く

設置するとき

- 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する



万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

指示

- 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には設置しない



火災・感電の原因となります。

製品、シヤワー室での使用禁止

- ぐらつく台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない



液晶ディスプレイが落下すると、重大な人身傷害や死亡の原因になることがあります。本機の固定にはVESA基準に準拠した壁掛け金具またはフロアスタンドをご使用してください。
多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置をとることで回避できます。本機やリモコンを操作するため、本機を設置した壁掛け金具やフロアスタンドにはよじ登らないでください。お子様にはよじ登ることが危険であることをよく説明して、よじ登らないように注意してください。

禁止

- 振動・衝撃のある場所に設置しない



振動・衝撃で液晶ディスプレイが移動・転倒し、けがの原因となります。

振動禁止

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む



- 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指示

- 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する



工事が不完全だと、けがの原因となります。

指示

～最初に必ずお読みください～

安全上のご注意

つづき

設置するとき つづき

■ 上に物を置いたり、ベットのをせたりしない



上載せ禁止

- 金属類や花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 転倒・落下防止の処置をする



指示

転倒・落下防止の処置をしないと、液晶ディスプレイの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。

転倒・落下防止のしかたについては、設置環境によりますので、工事専門業者にご依頼ください。

■ 異物を入れない



異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。

特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら液晶ディスプレイ・電源コード及び本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない



禁止

感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が進んだりしないように注意する



指示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。

内部の点検・調整及び修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 電源コード・電源プラグは、



禁止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、刃や刃の取付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する



指示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



指示

感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない



禁止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。

また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 周囲を囲まれた、風通しの悪いところに設置しないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所や、台所・浴室などの湿気が多い場所などに置くと、故障や火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、



指示

- 包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う
- ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、液晶ディスプレイを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- 画面を押さえないように、液晶ディスプレイをしっかり支えて取り扱う
- 液晶ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。
- 衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う
- 液晶ディスプレイが破損してけがの原因となることがあります。
- 移動する前に、すべてのケーブルを取り外す
- ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

■ 車（キャスター）付きのスタンドに設置する場合は、キャスターが動かないように固定する



指示

固定しないとスタンドが動き、けがの原因となることがあります。

畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないで、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない



禁止

タコ足配線をしてください。

火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない



禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを持って抜いてください。

■ 熱くなった通風孔に手や顔などを近づけない



禁止

本機は使用すると通風孔付近が非常に熱くなり、体の一部を近づけすぎると、やけどやけがの原因となることがあります。

使用するとき つづき

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■液晶ディスプレイやスタンドにぶら下ったり、上に乗ったりしない



禁止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■リモコンに使用している乾電池は、



禁止

- 指定以外の乾電池は使用しない
 - 極性表示(+)と(-)を間違えて挿入しない
 - 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
 - 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
 - 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
 - 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない
- これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
- もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
- 衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意

取扱いについて

- 高度3000mを超える場所では使用しないでください。正常に動作しない可能性があります。また、16ページ記載の環境条件の範囲外では動作保証できません。
- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 移転など、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 海岸地区のような潮風の影響を受ける場所や、温泉地のように腐食性のガスが発生する場所等には設置しないでください。塩分やガスで腐食が発生して誤動作や故障の原因となることがあります。
- 湿度の高い環境で使用すると、タッチパネルガラスと液晶画面の間に結露が発生する場合があります。これは自然現象であり故障ではありません。室温を徐々に上げていくと結露は消えます。結露が起きた場合は結露がなくなるまで電源を入れないでください。結露状態での使用は故障の原因になることがあります。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 本機を譲渡する場合、全ての情報を初期化することをお勧めします。
- 本機を破棄する場合、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。



メモは、重要度の高い情報や、特に注意が必要なことを強調して示しています。また、補足情報も記載されています。

■液晶ディスプレイの画面をたいたり、衝撃を加えたりしない



禁止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。

もれた液が目にはいたり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいたり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。

衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

お手入れについて

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く



指示

感電の原因となることがあります。

お手入れのしかたは14ページをお読みください。

■1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店に相談する



指示

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

商標に関する情報

- **HDMI**[®] HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Blu-ray Disc[™]（ブルーレイディスク）、Blu-ray[™]（ブルーレイ）はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- Windows、Windows 10は、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Wi-Fi、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他、会社名、製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取付/取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の变化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）が生じた場合、保証期間内でも有料修理になります。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

～最初に必ずお読みください～

使用上のお願いとご注意 つづき

本機のワイヤレスディスプレイ(無線LAN)を使う際のお願い

- 本機は、日本の電波法に基づく無線設備(無線LAN)を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は、2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、業務用ディスプレイ お客様相談窓口へお問い合わせください。

連絡先：業務用ディスプレイ お客様相談窓口

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)

0120-1048-27

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

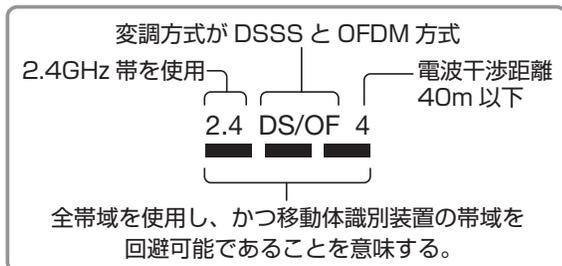
0570-666-065

受付時間：月曜～金曜 9:00-17:00

(祝日及びTVS REGZA株式会社既定休業日を除く)

- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。
- 無線LAN：



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

規格	チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11 b/g/n	1～13	2.412～ 2.472GHz
IEEE802.11 a/n/ac	W52	5.18～ 5.24GHz
	W53	5.26～ 5.32GHz
	W56	5.50～ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など：
無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。
 - 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。
 - 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまうおそれがあります。
- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

目次

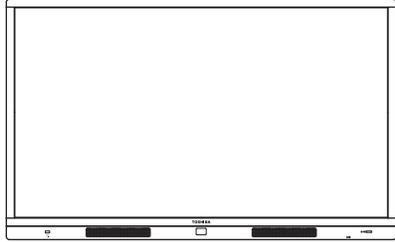
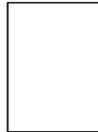
1. 開梱と設置	1
1.1. 開梱	1
1.2. 梱包箱の内容	1
1.3. 設置時の注意	2
1.4. 取り付け	3
1.5. 電源の接続	4
1.6. 画像の焼付き及び残像を防ぐ	4
1.7. 結露について	4
2. 各部の名称と働き	5
2.1. 前面 (操作ボタン/端子/LED)	5
2.2. 側面端子	6
2.3. スタイラスペン	7
2.4. リモコン	8
2.4.1. リモコンボタンの機能	8
2.4.2. リモコンに乾電池をセットする ...	9
2.4.3. リモコン操作上の注意	9
2.4.4. リモコンの動作範囲	9
3. 外部機器を接続する	10
3.1. 外部機器を接続する前に	10
3.1.1. 外部機器の準備	10
3.1.2. 接続ケーブルの準備	10
3.2. USBを接続する	11
3.3. HDMIを接続する	11
3.4. VGAを接続する	12
3.5. PCを操作する	12
4. 電源操作	13
4.1. 電源を入れる	13
4.2. 電源オフ	13
4.3. MENU ボタン(本体)	13
5. お手入れとトラブルシューティング	14
5.1. お手入れ	14
5.2. トラブルシューティング	15
6. 製品仕様	16

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- 本機は、以下の付属品とともに梱包されています。
- 開梱後は、中身がすべてそろっており損傷していないことを確認してください。

1.2. 梱包箱の内容

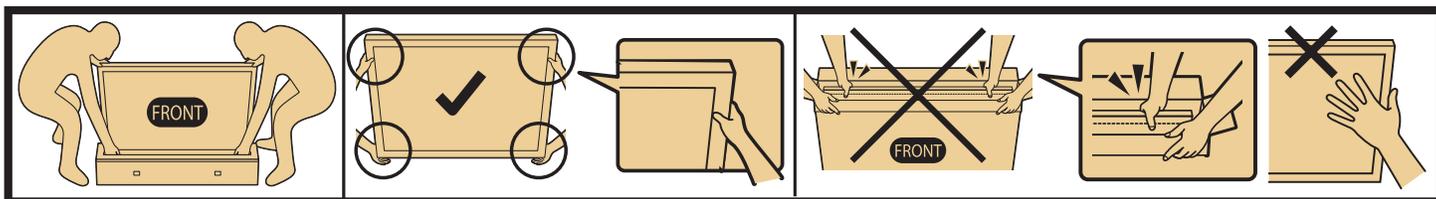
品名	数量	備考
液晶ディスプレイ	1	
リモコン	1	 リモコンと単四形乾電池(2個)
単四形乾電池	2	
電源コード	1	 電源コード
スタイラスペン	2	
ハンギングホイール (VESA取付用スペーサ)	4	
取付ガイド	1	 取付ガイド
保証書	1	 保証書

1.3. 設置時の注意

⚠ 注意

- 2人以上で作業する
一人で作業をすると身体を痛めたり、けがをしたりする原因になります。
- 画面を強く握らない
画面を強く握ると、損傷を与えるおそれがあります。

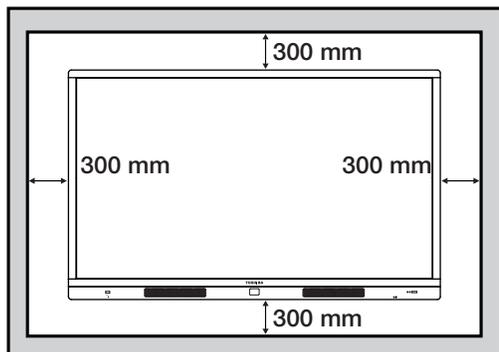
- 電力消費量が大きいため、必ず本機専用のコンセントを使用してください。延長ケーブルを使用する場合は、販売店にお問い合わせください。
- 複数のディスプレイを接続して使用する場合はコンセントの電源容量に注意してください。販売店にご相談いただくことをおすすめします。
- 本機を移動したり持ち上げたりするときは、2人以上で作業してください。
- 液晶ディスプレイの画面を押さえて持ったり、外枠(フレーム)を強く握ったりしないでください。



- メモ** • 液晶パネル部は衝撃に弱く、不適切な取り扱いで損傷を与える場合があります。液晶パネルの損傷を防ぐため、液晶ディスプレイを持ち上げたり移動する場合は、上記注意事項を守ってください。不適切な取り扱いでの損傷は保証の対象外となります。

本機を設置する際の換気要件

下図のとおり、本機の周囲に換気のための空間を確保してください。

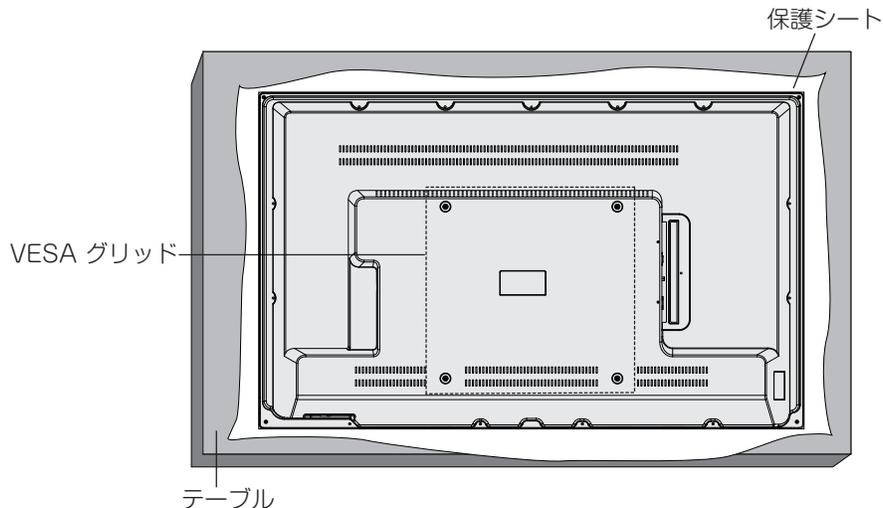


⚠ 注意

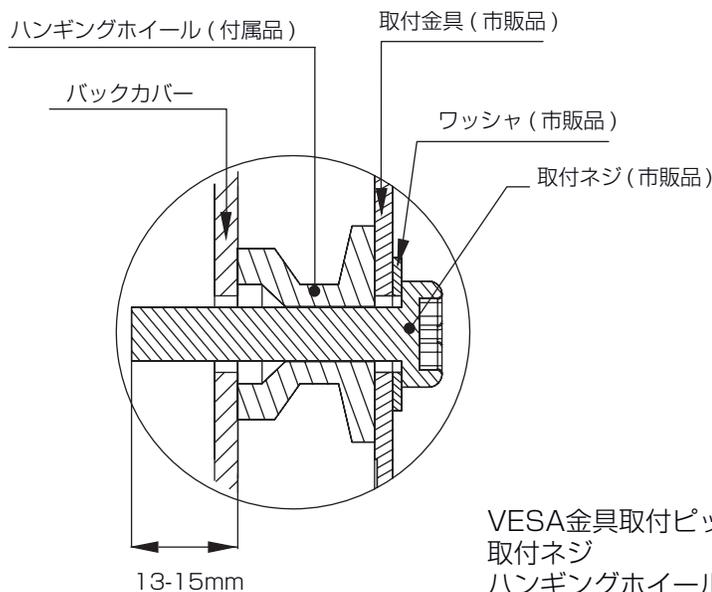
- 本機は横置き専用に設計されています。縦置き及び平置きでの使用はできません。
- チルト(前傾,後傾)で使用しないでください。タッチ機能に影響を及ぼす可能性があります。

1.4. 取り付け

本機を市販の壁掛け金具に取り付けます。VESAマウント規格に適合した壁掛け金具を用意してください。



1. 出荷時に本機を包んでいた保護シートをテーブルに敷き、表面に傷がつかないように本機をおきます。
2. 本機に取り付けに必要なすべての部品が揃っていることを確認します。
3. 実際取り付けは、壁掛け金具に付属している手順書に従ってください。正しい手順に従わないと、機器が損傷したり、使用者や設置者が怪我をするおそれがあります。不適切な設置が原因の損害は製品保証の対象外です。
4. 本機と壁掛け金具との固定は、M6取付ネジを使用し、しっかりと締めてください。ネジの長さは下図を参考に、本機背面からVESAマウントに対するネジ深さが13-15mmとなるものをご使用下さい。(付属ハンギングホイール高さ: 15.0mm)
5. 本体質量を十分支える強度のあるVESAマウント規格に適合した市販の壁掛け金具を使用してください。



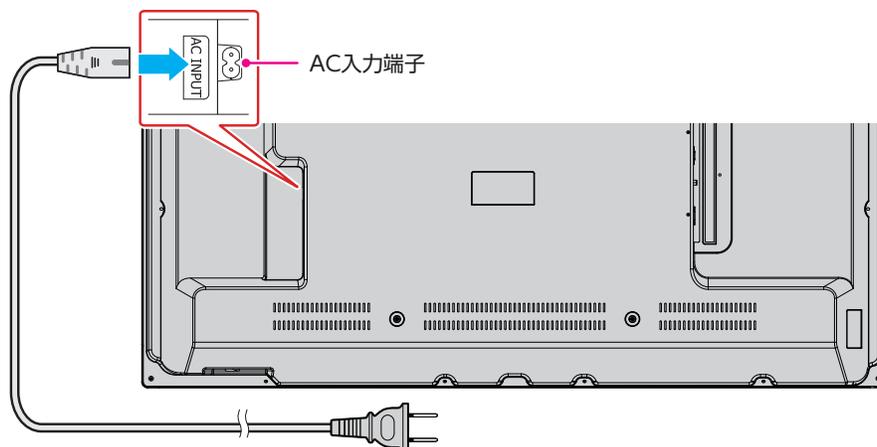
VESA金具取付ピッチ(mm) 400×400
 取付ネジ M6
 ハンギングホイール高さ(mm) 15.0



- 市販のフロアスタンドを使用する場合、VESAマウント規格に適合し、かつ製品質量を十分支えることのできるものをご使用ください。不明なところは弊社販売窓口にご相談ください。

1.5. 電源の接続

電源コードを本体背面下部のAC入力端子にしっかりと接続します。



□ 電源コード:本体付属品 (3m)

メモ

- 電源プラグはAC100Vコンセントの根元まできちんと差し込んでください。

注意

- 電源コードは、本機の付属品を使用してください
- 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しないでください
- AC100Vコンセントに接続してください

- 接続の前に本体の主電源が「オフ」になっていることを確認してください。
- できるだけ本機に近い電源コンセントを使い、すぐに手が届くようにしてください。

1.6. 画像の焼付き及び残像を防ぐ

注意

- 静止画を長時間表示しないでください。長時間表示すると画像の「焼付き」が起きたり、画像の「残像」が残ることがあります。これは、保証対象外となります。

- 4:3フォーマットの映像を長時間見ているときは、画面の左右と画像の端に異なる跡が残されますので、長時間使用しないでください。
- PC(コンピュータ)等の静止画像を長時間表示すると、部分的な残像が発生したり、焼付きが発生したりするため、明るさとコントラストを適切に下げてください。
- 使用しないときは電源をオフしてください。

注意

- 当製品は、1日16時間以内での使用時間を前提に設計されています。1日16時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

1.7. 結露について

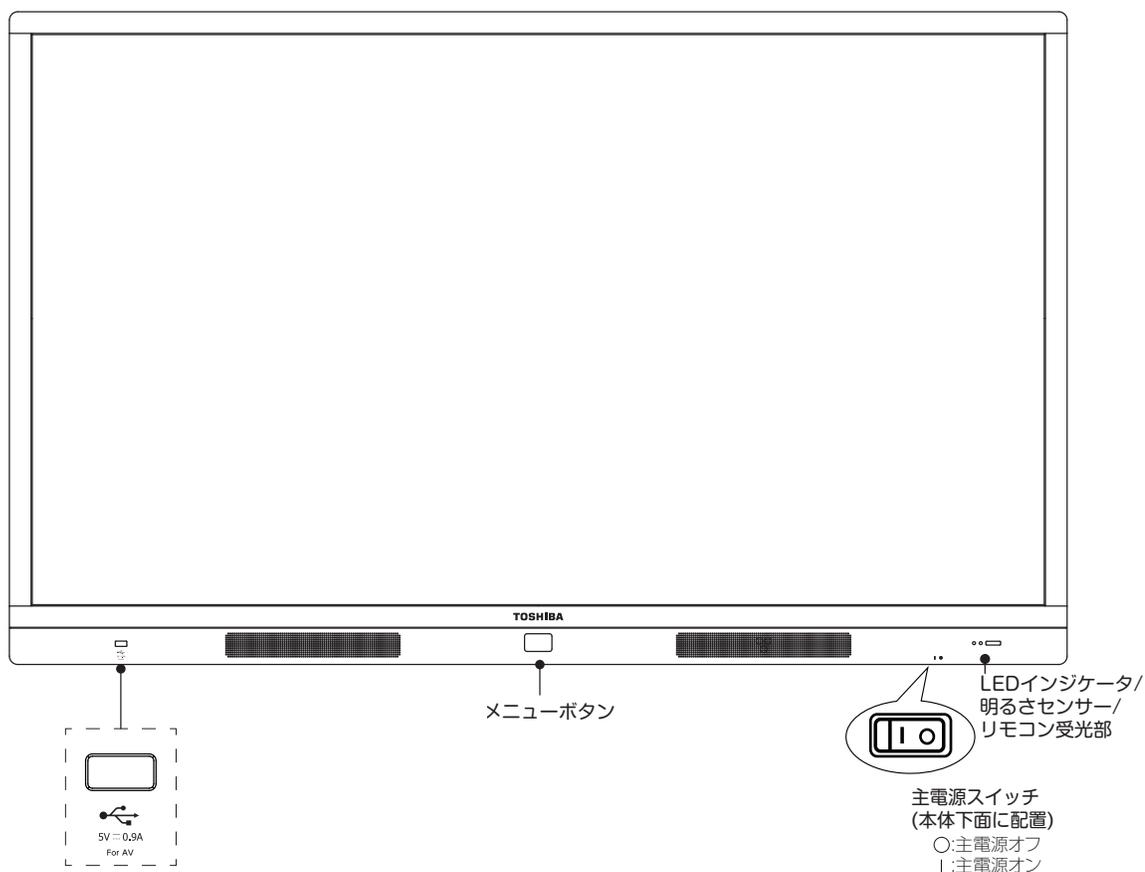
本機で構成する液晶パネルとタッチパネルの間には構造上わずかに隙間があり、湿度の高い環境で使用すると、タッチパネルガラスと液晶画面の間に結露が発生する場合があります。これは自然現象であり故障ではありません。室温を徐々に上げていくと結露は消えます。

注意

- 結露が起きた場合は結露がなくなるまで電源を入れないでください。結露状態での使用は故障の原因になることがあります。

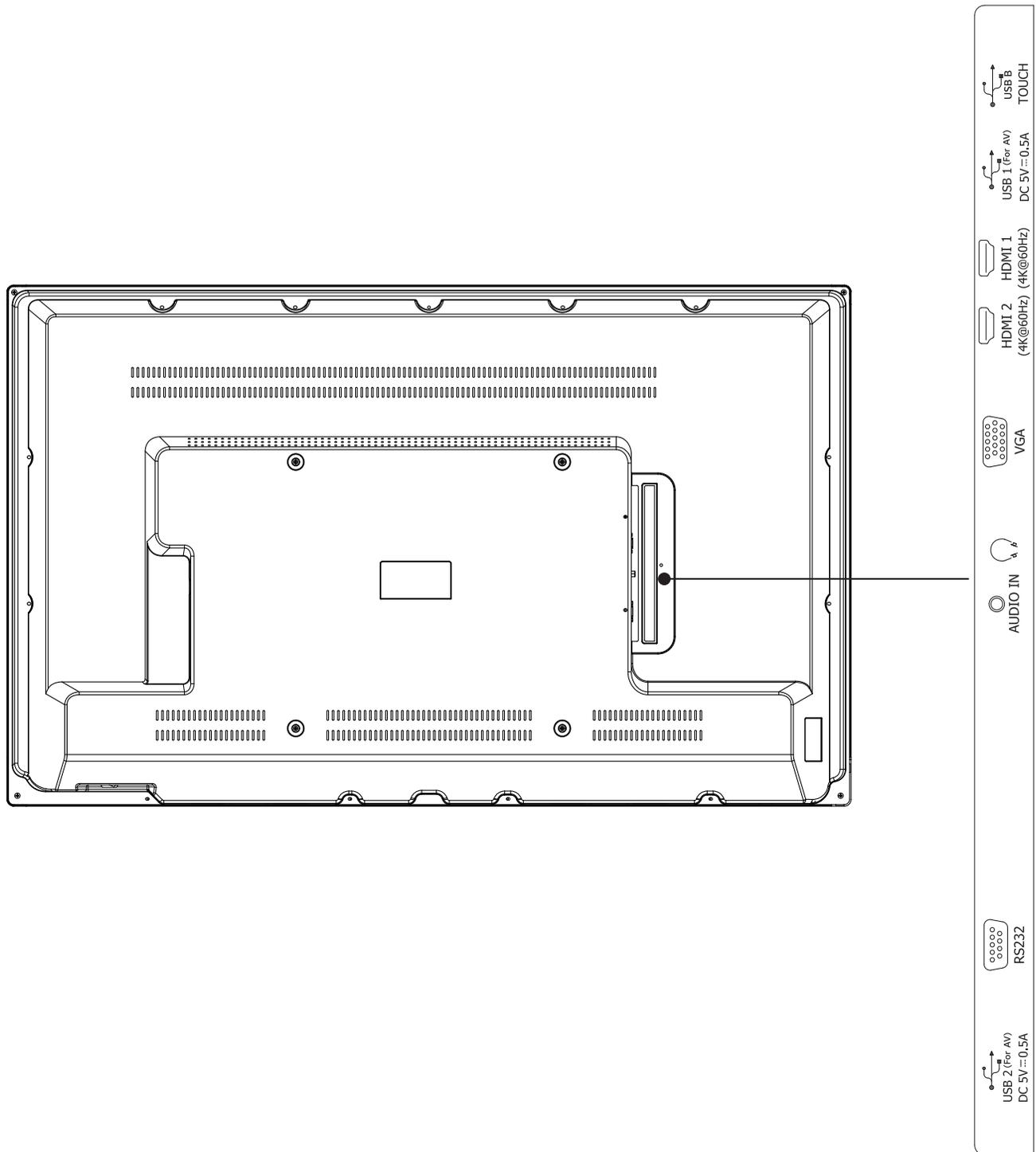
2. 各部の名称と働き

2.1. 前面 (操作ボタン/端子/LED)



名称	機能説明
主電源スイッチ	本機の主電源のオン/オフを行います。
リモコン受光部	付属のリモートコントローラからのコマンド信号を受信します。
明るさセンサー	ディスプレイ周辺の明るさを検出します。
LED インジケータ	本機の電源状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> - 赤に点灯：本機が電源スタンバイ状態になっている。 - 青に点灯：本機が電源オン状態になっている。 - 消灯：本機の主電源が切れている。
MENU(メニュー)ボタン	電源オン状態でメニューボタンを押すと、OSD ポップアップメニューを表示します。 電源オン状態でメニューボタンを長押しすると、電源スタンバイ状態に移行します。 電源スタンバイ状態でメニューボタンを押すと、電源オンになります。
USB	AV 関連機器専用 USB 端子 USB メモリー、USB ハードディスクを接続します。 (11 ページ “3.2 USB を接続する”参照)

2.2. 側面端子



メモ

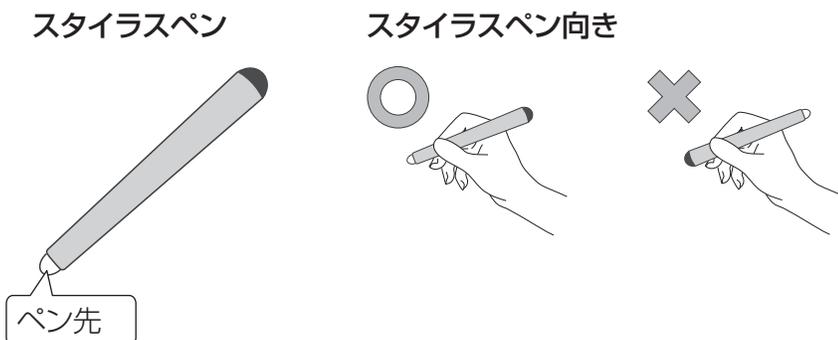
- ・ 背面図は参考用です。実際の製品を参考にしてください。
- ・ 外部機器の接続の際には、適切な入力信号ケーブルを正しく接続してください。

- 側面端子

端子名称	機能説明
USB1/ USB2	AV機器専用 USB端子1/2。USBメモリー、USBハードディスクを接続します。 (11ページ“3.2 USBを接続する”参照)
USB B (TOUCH)	タッチパネル制御用USB出力。タッチ制御を行うPCに接続します。
HDMI1/ HDMI2	HDMI1/HDMI2 ビデオ/音声入力端子。STB(セットトップボックス)、ブルーレイ、DVD、PC(コンピュータ)等、HDMI出力ポートを備えた外部機器に接続できます。
VGA	(アナログRGB)ビデオ入力端子。
Audio in	3.5mm ステレオミニジャック、アナログ音声入力端子。VGA入力時に有効です。
ヘッドホン端子 	3.5mm ステレオミニジャック、ヘッドホン用出力端子。
RS232	サービス専用の端子です。接続しないでください。

2.3. スタイラスペン

- 付属のスタイラスペンをご使用いただく際は下図の通り、正しい向きでご使用ください。



メモ

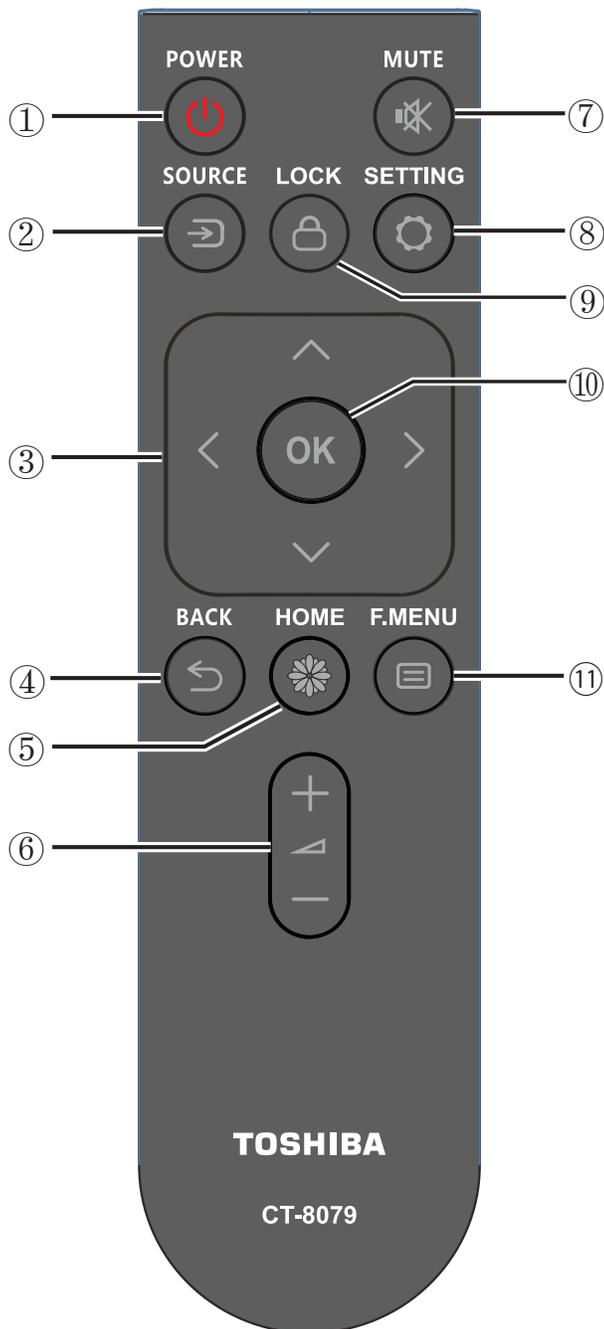
- 文字や線の描き込みには付属のスタイラスペンが誤動作が少なく描けるのでお勧めです。指先でも描き込みはできますが、手のひらなどがあたって誤動作する場合があります。
- スタイラスペンには乾電池は使用していません。

注意

- 硬いものや鋭利なもので画面タッチしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。このような傷は保証対象外です。

2.4. リモコン

2.4.1. リモコンボタンの機能



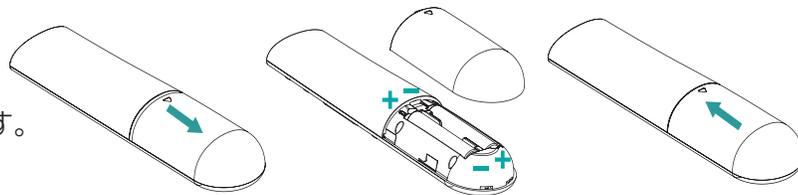
- ① **[POWER] 電源ボタン**
本機の電源を入れたり、スタンバイにします。
- ② **[SOURCE] SOURCE ボタン**
入力ソースを選択します。[V] または [^] ボタンを押して、HDMI 1、HDMI 2、VGA を切り替えます。
[OK] ボタンを押して設定を確定し、終了します。
- ③ **[^] [v] [K] [L] ナビゲーションボタン**
メニュー間を移動し、項目を選択します。
- ④ **[<] 戻るボタン**
メニューの前のページに戻ります。または前の機能を終了します。
- ⑤ **[HOME] ホームボタン**
ホーム画面を表示します。
- ⑥ **[−] [+] 音量ボタン**
音量を調整します。
- ⑦ **[MUTE] ミュートボタン**
ミュート機能をオン/オフにできます。
- ⑧ **[SETTING] 設定ボタン**
設定メニューを表示させます。
- ⑨ **[LOCK] ロックボタン**
ディスプレイ操作に対する、ロック/ロック解除を行います。
- ⑩ **[OK] ボタン**
入力または選択内容を確認します。
- ⑪ **[F.MENU] F. MENU (FILE MENU) ボタン**
USBメモリーや内蔵メモリー内のコンテンツ再生時、操作メニューを表示します。

2.4.2. リモコンに乾電池をセットする

リモコンは1.5V単四形乾電池を2本使用します。

乾電池をセットまたは交換する

1. カバーを押してスライドし、開けます。
2. 極性表示の(+)と(-)のとおり乾電池を入れます。
3. カバーを元どおりに取り付けます。



⚠ 注意

■ 乾電池は正しく使用してください。誤った使い方をすると、液漏れや破裂の原因になります。

次の指示を守ってください。

- 極性表示の(+)と(-)のとおりセットしてください。
- 違う種類の乾電池を一緒に使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れが発生することがあります。
- 使い終わった乾電池は、乾電池の電解液が漏れてリモコンが損傷しないよう、ただちに取り外してください。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池から漏れ出た電解液には触れないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。

2.4.3. リモコン操作上の注意

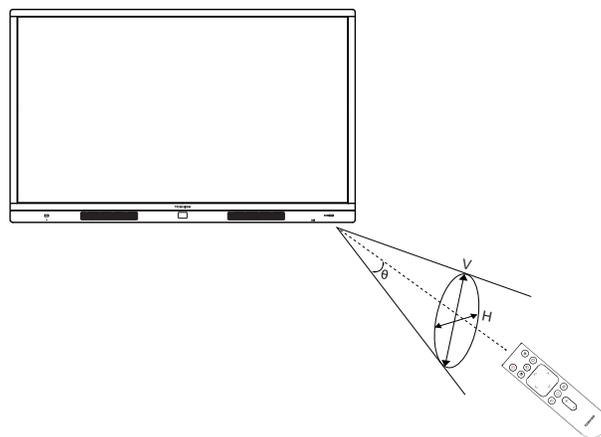
- 強い衝撃を与えないでください。
- リモコンに水などの液体がかからないようにしてください。リモコンが濡れた場合はただちにふき取ってください。
- 熱や蒸気にさらさないでください。
- 乾電池を取り付ける時以外はリモコンのカバーを開けないでください。

2.4.4. リモコンの動作範囲

リモコンの先端を本機のリモコン受光部に向け、ボタンを押します。

リモコンは次の表に記載の範囲内で使用してください。

動作角度	リモコン動作距離
$\theta = 0^\circ$ (横及び縦)	$\leq 8\text{m}$
$\theta = 30^\circ$ (横)	$\leq 6\text{m}$
$\theta = 15^\circ$ (縦)	$\leq 6\text{m}$



- メモ** • 本機のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっている場合や、信号の送信経路に障害物がある場合はリモコンが正しく動作しないことがあります。

3. 外部機器を接続する

3.1. 外部機器を接続する前に

3.1.1. 外部機器の準備

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

3.1.2. 接続ケーブルの準備

本書に記載の接続方法及び接続ケーブルの端子形状などは一例です。
設置場所や接続機器の使用に適した市販品をご使用ください。

<映像ケーブル>

1) HDMIケーブル

- HDMIロゴ表示のある、5m以内のケーブルをお使いください。
- 5mより長いケーブルをお使いになる場合はアクティブケーブルまたは延長器をご使用ください。
- 外部機器から1080p以上の映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。(標準HDMIケーブルでは正常に動作しないことがあります。)

2) VGA(アナログRGB)ケーブル

- 固定用のネジがあるコネクタを使用し、機器との接続時は固定用ネジを締めてください。

メモ ケーブル使用上の注意(各ケーブル共通)

- ケーブルロスを最小にするため、2つの機器を接続するために必要最低限の長さのケーブルを使用してください。
- ケーブルを潰した状態で使用するとその特性が変わってしまうことがあり、画面にノイズとして現れたり、同期が外れたり、画面が出なくなることがあります。ケーブルを結束する場合は締めすぎないようにご注意ください。
- 固定用のネジがあるコネクタの場合は、機器との接続時には固定用のネジをきちんと締めてください。

<音声ケーブル>

- 本機の入力は3.5mmステレオミニジャックです。接続機器側の端子形状確認のうえ、接続に適したケーブルをご使用ください。

メモ ケーブル使用上の注意(各ケーブル共通)

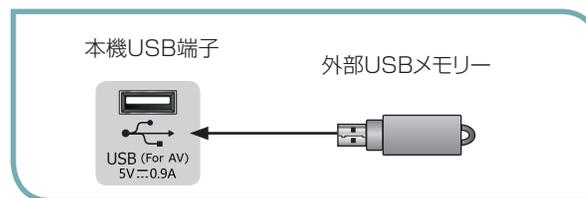
- 抵抗入りのケーブルは使用しないでください。抵抗入りのケーブルは音声レベルに影響を及ぼし音声のレベルが著しく落ちる可能性があります。

3.2. USBを接続する

本機ではAV機器専用USB端子3系統(前面:1系統、側面:2系統)搭載しています。

USBメモリーやUSBハードディスクをそれぞれの端子に直接接続して使用できます。

(USBメモリー:市販品、19ページ参照)



メモ

- USBメモリー接続の際、延長ケーブルは使用しないでください。動作が不安定になる場合があります。

注意

- 前面USB端子の最大出力電流は900mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。
- 側面USB端子(USB1,USB2)の最大出力電流はそれぞれ500mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。
- 本機のUSBポートで同時に出力できる合計電流は最大1900mAに制限されています。この出力電流制限を超えた場合は動作保証できません。
- 本機のUSB端子はAV機器専用です。USBメモリー、USBハードディスク以外のデバイスは接続しないでください。

3.3. HDMIを接続する

本機では、PCやAV機器(ブルーレイ、DVD、セットトップボックスなど)がサポートするHDMI出力を接続するHDMI入力端子を2系統持っています。(HDMI1 IN、HDMI2 IN)

音声はHDMI信号に重畳される信号を出力します。HDMI入力選択時に、音声入力端子からの信号出力に切り換える機能はありません。

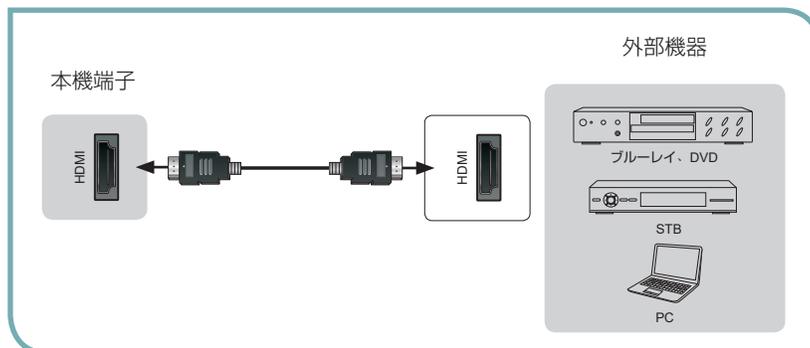
メモ

- HDMIで他の機器と接続するときは、送信信号が本機がサポートする信号フォーマットであることを確認してください。(サポート解像度一覧を参照)

サポートされない信号の場合は、画像が乱れる、または画像が表示されないことがあります。

- HDMI外部機器がHDCP信号が適切にサポートしていない場合には、画面が表示されないことがあります。お使いの外部機器の仕様を確認してください。

HDMIでサポートされている信号フォーマット	
RGB/60Hz	640×480、800×600、1024×768、1920 x 1080
YUV/50Hz	576i、576p、720p、1080i、1080p、2160p
YUV/60Hz	480i、480p、720p、1080i、1080p、2160p



□ HDMIケーブル:市販品(10ページ参照)

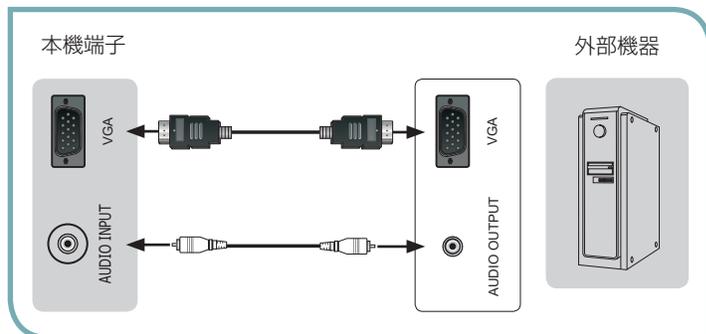
3.4. VGAを接続する

- 本機にはD-sub 15ピンRGBコンピュータ標準ポートがあり、本機のVGAポートとホストコンピュータのVGAポートを接続します。
- 本機の音声入力端子とコンピュータのサウンドカードの音声出力端子を音声ケーブルで接続します。

メモ

- VGA入力を使用するときは、映像信号がAUDIO INPUT端子に接続している音声信号と同期していることを確認してください。そうしないと、音声と映像が非同期になる問題が発生する可能性があります。
- VGAポートでサポートされているコンピュータの信号フォーマットについては、下表を参照してください。

VGAポートでサポートされているコンピュータの信号フォーマット		
VGA	640×480	60Hz
SVGA	800×600	60Hz
XGA	1024×768	60Hz
	1360×768	60Hz
	1280×720	60Hz
SXGA	1280×1024	60Hz
FHD	1920×1080	60Hz

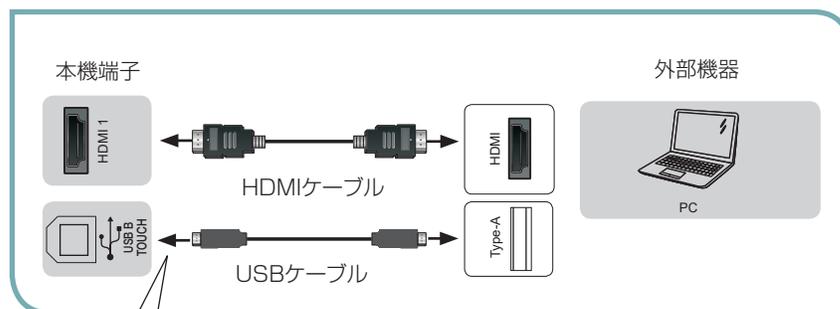


- HDMIケーブル:市販品 (10ページ参照)
- 音声ケーブル:市販品 (10ページ参照)

3.5. PCを操作する

PC接続時に本機に映し出された画面からPCの操作を行うことができます。

本機とPCの接続



Type-B

- HDMIケーブル:市販品 (10ページ参照)
- USBケーブル:市販品

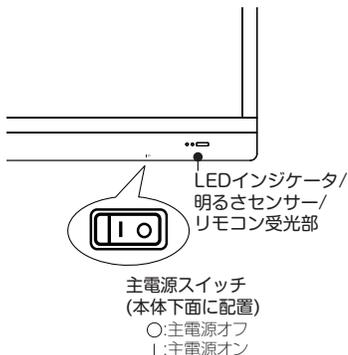
メモ

- USB B端子(Type B)はTOUCH操作用のPC接続専用端子です。接続するPCの端子形状を確認のうえ、USB 2.0以上の規格に準拠した市販のUSBケーブルを準備してください。他の機器とは接続しないでください。
- ケーブル長は5m以内(USB 2.0規格)のもので、実際の使用環境に合わせて最適な長さのものを準備してください。
- タッチ操作はWindows 10のサポート機能です。すべてのPCでの動作を保証をするものではありません。
- タッチ操作で位置が大きくずれていたり、ずれた位置に描画されるなどの症状があった場合、PC側でタッチ位置のキャリブレーションを行ってください。キャリブレーションの方法は使用するPCの取扱説明書もしくはヘルプメニューを確認してください。

4. 電源操作

4.1. 電源を入れる

- 主電源スイッチをオンにします。LEDインジケータが青に点灯し、ディスプレイがオンになります。(出荷設定)
- 主電源スイッチがオンで、LEDインジケータが赤点灯の場合は、電源スタンバイ状態となっていますので、リモコン電源ボタンまたは本体[MENU]ボタンを押してください。
- 主電源スイッチがオフ(LEDインジケータが消灯)時は、リモコン及び本体[MENU]ボタンを押しても動作しません。これらを使用する場合は、主電源スイッチがオンであることを確認してください。



LEDインジケータ	
電源ステータス	LED
電源オン状態	青点灯
電源スタンバイ状態	赤点灯
主電源オフ	消灯

メモ

- ディスプレイ起動中は、水色の背景にステータスバーが数秒間表示されます。内部設定を行っているので、この間はリモコンや本体ボタンは受け付けません。起動中に主電源オフはしないでください。



4.2. 電源オフ

- 電源オン状態でリモコン電源ボタンを押す、または本体[MENU]ボタンを長押しすると、電源スタンバイモードに移行します。
- お手入れ、長期間使用しないときは主電源スイッチをオフにするか、電源プラグを抜いてください。

メモ

- 時計データは主電源オフ状態でもバックアップ電源により約1週間駆動します。



注意

- 非常の場合は速やかにコンセントを抜いてください。

4.3. MENU ボタン(本体)

本体メニューボタンは上記の通り、電源オン/オフの電源管理を行うほか、OSDポップアップメニュー表示を行います。

1) OSDポップアップメニュー表示

電源オン状態で本体[MENU]ボタンを押すと、OSDポップアップメニューを表示します。

2) 電源管理

電源オン状態で本体[MENU]ボタンを長押しすると、電源スタンバイ状態に移行します。

電源スタンバイ状態で本体[MENU]ボタンを押すと、電源オンします。

5. お手入れとトラブルシューティング

5.1. お手入れ

本機をお手入れする際の注意

- 本機の通風孔部分は、非常に熱くなっていますので、手や顔、物を通風孔に近づけないでください。体の一部を近づけすぎると、やけどやケガの原因となります。本機上部の近くに物を置くと、その物や本機の熱による損傷が発生する可能性があります。
- 本機を移動する前に、すべてのケーブルを取り外してください。ケーブルを接続したまま本機を移動すると、ケーブル等が傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 安全上の注意に従って、お手入れまたはメンテナンスを行う際はどのような場合であっても、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ゴムまたはビニール製の物をキャビネットの近くに長期間置かないでください。



注意

- お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

フロントパネルのお手入れ

- タッチディスプレイパネルの表面に付着しているゴミ、ホコリを柄付の柔らかいモップなどでやさしく払ってください。
- タッチディスプレイパネルの表面は清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を使用して、表面をやさしくふいてください。手の脂などの汚れが目立つ場合は、マイクロファイバークロスの眼鏡ふきやタッチパネルふきなどで画面をやさしくふいてください。
- よごれが落ちにくい場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を中性洗剤に浸してから固く絞り、表面をやさしくふき取ってください。次に、同様の乾いた布で水分をふき取ってください。
- パネル表面を指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- 殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質は使用しないでください。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットに付着しているゴミ、ホコリを柄付の柔らかいモップなどでやさしく払ってください。
- キャビネットが汚れた場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）でふいてください。
- よごれが落ちにくい場合は、清潔で柔らかな、毛羽立ちの無い布（綿やガーゼなど）を中性洗剤に浸してから固く絞り、表面をやさしくふき取ってください。次に、同様の乾いた布で水分をふき取ってください。
- 水や洗剤が、本機の表面に付かないようにしてください。水や湿気が本体内部に入り込むと、動作不良を起こしたり、電氣的障害や感電事故の原因となります。
- キャビネットを指や硬い物で引っかいたり叩かないでください。
- キャビネットに、殺虫剤、溶剤、シンナーなどの揮発性物質を使用しないでください。

5.2. トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処方法
画像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが接続されていない。 2. 本機下側にある主電源スイッチが入っていない。 3. 選択した入力端子に機器が接続されていない。 4. 本機が電源スタンバイ状態になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードを接続してください。 2. 電源スイッチが入っていることを確認してください。 3. 対応する入力端子に機器を接続してください。 4. LEDインジケータ青点灯を確認してください。
表示される画像が乱れる、または音声にノイズが入る	周囲の電子機器や蛍光灯によるもの。	本機を別の場所に移動し、画像の乱れが軽減されているか確認してください。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていない。	信号ケーブルが本機側面及び前面にしっかりと接続されているか確認してください。
画像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 入力信号の解像度が液晶ディスプレイのサポート範囲を上回っている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。 2. 液晶ディスプレイのサポート範囲を超えないように、映像入力信号解像度を確認してください。入力モードの項で仕様を確認してください。
音は聞こえるが画像が表示されない	入力信号ケーブルが正しく接続されていない。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。
画像は表示されるが音声が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入力信号ケーブルが正しく接続されていない。 2. 音量が一番低く設定されている。 3. [MUTE] がオンになっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されているか確認してください。 2. [+] または [-] ボタンを押して音量を調整してください。 3. [MUTE] ボタンを押して、ミュートをオフにしてください。
一部の画素が光らない	液晶ディスプレイの一部の画素が欠けている。	液晶ディスプレイは、極めて精密な技術で製造されていますが、一部のピクセルが表示されない場合があります。これは故障ではありません。
本機の電源を切った後も映像が表示される (ロゴ、ビデオゲーム、PC の画像、4:3 の通常モードで表示された画像などの静止画)	静止画が長時間表示された。	静止画を長時間表示しないでください。液晶パネルに永続的に残像もしくは焼き付きが残ることがあります。液晶パネルの焼き付きは保証対象外です。
タッチが動作しない	周囲に蛍光灯などのノイズ源がある。もしくは外光などの強い光が当たっている。	タッチセンサーは赤外線式です。強い光や蛍光灯の影響を受けます。原因から遠ざけてください。
操作できない	操作すると"スクリーンロック"のメッセージが出る。	<p>ロック機能が動作しています。</p> <p>リモコンLockボタンを押して解除してください。</p> <p>「設定メニュー」の「システム」で、スクリーンロック機能のオンオフができます。</p>
スマートフォンで撮影した写真、動画が上下が逆になる場合がある。	スマートフォンでは撮影画像のファイル属性を見て180度回転表示するが、本機はこの属性に対応していないため。	PCのペイントブラシ等の機能で上下逆に再設定ください。
PCのタッチ機能で描画を行うと、描画位置がずれる。	PC側でタッチ位置のキャリブレーションが必要。	<p>PCを本機に接続した状態で、キャリブレーションを行ってください。</p> <p>キャリブレーションの方法は使用するPCの取扱説明書もしくはヘルプメニューを確認してください。</p>

6. 製品仕様

液晶パネル:

項目	仕様
画面サイズ(対角寸法)	55V型(139cm)
アスペクト比	16:9
ピクセル数	3840(H) × 2160(V)
ピクセルピッチ	0.315mm(H) × 0.315mm(V)
表示可能色	約10億7000万色
輝度(Typ.)	270 cd/m ²
コントラスト比(Typ.)	1200:1
視野角	上下/左右 178度

一般:

項目	仕様
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	150W
消費電力(スタンバイ & オフ)	≤ 0.5W
寸法[幅×高さ×奥行き]	1267mm × 783mm × 103mm
本体質量	28.2kg
梱包質量	37 kg

環境条件:

項目	仕様
温度	5°C~40°C
湿度	20%~80% RH(結露しないこと)
大気圧	86kPa~106kPa

内部スピーカー:

項目	仕様
タイプ(音声実用最大出力)	フルレンジ (10W + 10W)
入力	10W(RMS)
インピーダンス	8Ω
出力音圧	78dB
周波数応答	160Hz~12kHz

スクリーンミラーリング(無線LAN):

項目	仕様
規格	IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11ac準拠 ARIB STD-T71 / ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応していません。
伝送方式	OFDM方式 / DSSS方式
周波数範囲(中心周波数)およびチャンネル	IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11ac: 5.18GHz ~ 5.24GHz(36, 40, 44, 48) [W52] 5.26GHz ~ 5.32GHz(52, 56, 60, 64) [W53] 5.50GHz ~ 5.70GHz(100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140) [W56] IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b: 2.412GHz ~ 2.472GHz(1 ~ 13)
動作モード	インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応していません。)

その他仕様:

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面サイズ(55V型)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 本機は日本国内での使用を目的に設計されており、海外では電源電圧が異なりますので使用できません。
- 本機の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」 - JIS C 61000-3-2 とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

メディアプレイヤー サポートフォーマット

• 動画ファイル

ファイルの拡張子	ビデオコーデック	最大解像度	最大ビットレート	オーディオコーデック
.avi .mpg .ts	MPEG2	1920×1080	40Mbps	MPEG1(Layer1,2,3)
.ts .mkv .avi .mp4	H.264	3840x2160	160Mbps	AAC, MPEG1(Layer1,2,3)

• 静止画ファイル

ファイルの拡張子	静止画コーデック	写真	最大解像度
.jpg .jpeg	JPEG	ベースライン	8000 x 8000
		プログレッシブ	4000 x 4000
.png	PNG	ノンインターレース	8000 x 8000
		インターレース	8000 x 8000
.bmp	BMP	—	8000 x 8000

• 音楽ファイル

ファイルの拡張子	オーディオコーデック	周波数	ビットレート
.mp3	MPEG1(Layer3)	32kHz, 44.1kHz, 48kHz	32kbps~320kbps
.ogg .mka .mov	FLAC	max 192kHz	max 1411kbps
.ogg .mka .mov .wav .avi	PCM	8-192kHz	max 320kbps
.mka .mov .avi .mp4 .ts	AAC	8-96kHz	24-576kbps

 メモ

- ビットレートまたは最大解像度が上記の表よりも大きいコンテンツの場合、動作は保証できません。
- 本書で記載されている対応フォーマットであっても、そのすべてのファイルの再生を保証するものではありません。

メモ

USBメモリー

- USB2.0対応のUSBメモリー(市販品)をご使用ください。
- フォーマットFAT32及びFAT16に対応しています。USBハードディスクも同様です。また、NTFS, exFATには対応しておりません。
- USBメモリーでサポートする最大容量は2TB(FAT32フォーマット時)です。
- 全てのUSBメモリーについて動作保証するものではありません。USBメモリーによっては再生できないものもあります。事前に接続確認をお勧めします。
- USBメモリーを認識しない場合、一度USBメモリーをフォーマットを行ったうえで再度お試しください。症状が解消される場合があります。
- 暗号化されたUSBメモリーは再生できません。
- USBデバイス名及びファイル名は英数字のみサポートしています。漢字、ひらがな、カタカナは文字化けする場合があります。
- USBメモリーを抜く場合は、電源オフ状態で行ってください。
- USBの延長ケーブルは使用しないでください。動作不安定になる場合があります。

アナログ入力端子仕様

入力端子	名称	入力信号	入力レベル	インピーダンス
VGA	VGA	R, G, B	0.7 V p-p	75 Ω
		Hs, Vs	TTL	ハイインピーダンス
AUDIO	アナログオーディオ	L, R	1 Vrms	>10 kΩ

商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご相談

業務用ディスプレイ お客様相談窓口

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料) 【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)

0120-1048-27

0570-666-065

受付時間:月曜～金曜 9:00-17:00
(祝日及びTVS REGZA株式会社既定休業日を除く)

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

TD-E555TS 液晶ディスプレイ

取付ガイド

2021年6月第3版発行

発行：TVS REGZA 株式会社

〒212-0058

神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2